**【進捗管理表】2025年中野若者会議（4期）で提言された意見への対応**

（凡例）
◎　：全部実施可能
○　：一部実施可能
●　：実施済
△　：検討中
×　：実施不可

中野区子ども・若者支援課

| No. | グループ | 提言の要旨 | 担当部<br>（担当課） | 対応方針 | 説明・理由 | （対応方針で◎・○・△の場合） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 対応時期 | 対応状況<br>（令和8年4月～9月） | 対応状況<br>（令和8年10月～令和9年3月） | 対応結果 |
| 1-1 | 入門チーム | 中野区と若者をつなげるメディアとして歴史や文化財を広めるために中野若者会議を活用するとはどうか。<br><br>中野区への関心が高い若者会議メンバーが、中野の歴史や文化等を知るプログラムを実施してはどうか。<br><br>例：実際の若者会議の体験会⑪でアイスブレイクとして参加者が中野を詳しく学べる機会を創出（謎解きゲーム、クイズなど） | 子ども教育部<br>（子ども・若者支援課） | △ | ご提案を参考に、委託事業者とも連携しながら来期若者会議における体験⑪などでのアイスブレイクで、中野を学べる機会を創出することなども含めて プログラムの検討を行います。 | 適宜 | 今年度の若者会議のキックオフでは、アイスブレイクとして実際に参加者の皆さんで中野のまちを巡り、それぞれの中のお気に入りの場所や気になっている場所を共有し、新たなまちの魅力の発見につながるような機会を創出しました。 | | |
| 1-2 | 入門チーム | ①中野区と若者をつなげるメディアとして歴史や文化財を広めるために中野若者会議を活用してはどうか。<br>広報において若者が地域に関心を持てるような発信を行ってはどうか。 | 子ども教育部<br>（子ども・若者支援課） | ○ | ①デジタル（SNSなど）とアナログ（広報、チラシ）双方の広報手法を用いながら、情報発信を行います。<br>また、二十歳のつどいなど、若者が集まる場で中野若者会議を宣伝するなど、効果的な広報・周知方法について検討いたします。 | 適宜 | 今年度の若者会議の実施について、Xの中野区若者情報発信アカウントで活動状況の発信をしているほか、区報やチラシなどの媒体を活用した広報を実施しています。 | | |
| | | ②若者が文化財に注目する機会として、区のSNS等で文化財の「映えスポット」のおすすめポイントを発信するなどはどうか。 | 区民部<br>（文化振興・多文化共生推進課） | △ | ②本区にある文化財の特徴や見どころについては、すでに有料刊行物（『中野区の史跡ガイド』）で発信しているところではありますが、今後、より効果的な情報発信の手段・内容を検討します。<br>また、必要に応じて情報提供や内容確認等の協力を行いますので、若者の皆様自身の視点で発信に取り組んでいただければと思います。 | 適宜 | 効果的な情報発信の手段・内容について検討するため、事例等の情報収集を行っています。 | | |
| 1-4 | 入門チーム | 若者が文化財に注目する機会をつくるのはいかがか。<br><br>具体的には、中野の歴史・文化に関連づけた「イベント」を企画する。<br>たとえば、江戸時代を舞台にするならば、下記のような案が考えられる。<br>例①大規模の時代背景を踏まえた謎解きイベント<br>（歴史IP×謎解きゲームは台東区など他自治体でも前例が多い）<br>例②大規模の歴史を感じられるドッグイベント | 区民部<br>（文化振興・多文化共生推進課） | ○ | 例示いただいた「大規模を題材とした歴史謎解き」や「歴史を感じられるドッグイベント」などの企画について、当課が主催することは想定していませんが、民間企業や若者の発想や企画を進める際に、歴史的背景や内容の妥当性に関する確認等の協力は可能です。<br>また、当区では、歴史民俗資料館を有しており、展示や資料を活用した新たなイベント・企画づくりについて、若者の皆様と一緒に取り組むことは、今後の連携の可能性として前向きに検討します。 | 適宜 | 若者との連携によるイベント企画等について、今後の連携に向けた事例等の情報収集を行っています。 | | |
| 2-1 | 健康チーム | 「インフォメーション」<br>健康情報のインフォメーションを改善しませんか？<br><br>①SNS等：LINEやInstagramなど若者に身近なアプリを活用<br>②アナログ：イベントは、区報・掲示板・区役所1F設置・学校を通した周知 | 地域支えあい推進部<br>（地域包括ケア推進課） | ● | 健幸に関するイベントについては、区報・掲示板・ホームページ・ためまっぷ・LINE等様々な方法で多くの区民の方にお届けできるようにしています。今後も色々な媒体でご紹介していけるようにしていきます。 | 適宜 | | | |
| 2-2 | 健康チーム | 「インセンティブ」<br>健幸ポイントの対象年齢・範囲を拡大しませんか？<br><br>対象年齢：中野区に在住・在勤・在学の方（年齢制限はありません。）<br>対象範囲：ボランティア活動への参加、親子体操イベントへの参加など<br>（例）既に千葉県柏ア浦市で実施「そでひろう健康ポイント事業」 | 地域支えあい推進部<br>（地域包括ケア推進課） | × | 現在実施している健幸ポイント事業は、3年間の実証事業であり、対象年齢・範囲を拡大する予定はありません。<br>実証終了後に検証を踏まえ、健幸ポイント事業の実施や対象年齢などを検討していきたいと考えています。 | 適宜 | | | |
| 2-3 | 健康チーム | 「イベント」<br>健康イベントの参加者数を増やすために工夫しませんか？<br><br>【同時開催】<br>①中野区主催イベントと民間主催イベントを同日開催できる仕組をつくりませんか。そうすることで、相互の参加者の回遊を実現し、健康イベントへの参加のきっかけが生まれます。 | 地域支えあい推進部<br>（地域包括ケア推進課） | × | ①区と民間イベントの同日開催の仕組み、を作ることは現時点では難しいと考えていますが、当課で実施しているNIC＋協定の事業者と共催で広く場所を使って、より幅広い層の区民の方に興味を持ってもらえるようなイベントを開催する工夫をしています。<br><br>②③区では、健幸に関する情報が得られたり、健幸に関する測定ができる「中野健幸どまんなか市」を令和6年度より定期的に開催しています。また、地域でも区民とNIC＋事業者や学生等が一緒になって定期的な健康イベントをしています。NIC＋協定事業者の協力を得ながら、区民の方の健康への意識が高まるように区内全体に広がるようにしていきたいと考えています。 | 適宜 | | | |
| 2-4 | 健康チーム | 「イベント」<br>健康イベントの参加者数を増やすために工夫しませんか？<br><br>【協力開催】<br>②区と地域で健康イベントを協力開催する事例を増やしませんか。そうすることで、イベントの開催テーマを多様化したり、魅力UPが実現します。 | 地域支えあい推進部<br>（地域包括ケア推進課） | ● | | 適宜 | | | |
| 2-5 | 健康チーム | 「イベント」<br>健康イベントの参加者数を増やすために工夫しませんか？<br><br>【定期開催】<br>③健康イベントを定期開催しませんか。そうすることで、周知の強化に加え、運動を習慣化する区民の「繋がり」ができます。 | 地域支えあい推進部<br>（地域包括ケア推進課） | ● | | 適宜 | | | |
| 3-1 | 自主コース<br>情報発信チーム | 情報発信ミーティングを年1回開催できないか。<br><br>中野区が主催できないか。たとえば他自治体の事例としては、西伊豆市、豊田市では市の職員と民間で連絡協議会がある。<br>民間が主導する場合、区の所管課を明確にできないかつまた、民間の取組として自立する場合、区が人的・資金的に支援する仕組みはないか？ | 企画部<br>（広聴・広報課） | △ | （情報発信ミーティングの開催について）<br>若者会議の中で開催するものについては、可能な限り参加・協力できるよう都度調整します。<br>民間が主導する場合の所管課について、情報発信の内容やターゲットによって担当所管が異なりますが、区公式HP・LINE・X等による情報発信については、広聴・広報課が所管となります。 | 適宜 | 若者会議の中で開催するものについては、可能な限り参加・協力できるよう都度調整します。 | | |
| | | | 区民部<br>（文化振興・多文化共生推進課） | △ | （情報発信ミーティングについて）<br>中野区が開催する会議体や協議会は、様々な課題により多数存在しています。現在も、中野区若者活躍会など民間の団体とは、適宜情報や意見の交換をしていますが、情報発信というテーマで新しい会議体や協議会、ミーティングなどが必要であるかは、随時関係者の意見などを聞いてまいります。 | 通年 | 情報発信というテーマで新しい会議体や協議会、ミーティングなどが必要であるかは、随時関係者の意見などを聞きながら引き続き検討していきます。 | | |
| | | | 子ども教育部<br>（子ども・若者支援課） | △ | （人的・資金的に支援する仕組みについて）<br>若者会議や次年度実施を予定している若者実態調査などで、当事者である若者の声やニーズを聴きながら、若者のチャレンジを応援する補助金制度について検討を進めていきます。<br>また、地域で継続的な活動を円滑に行うための方策についても併せて検討を行います。 | 通年 | 中野区内在住の13歳から39歳までの方を対象に、若者実態調査を6月から7月にかけて実施いたしました。<br>今後、調査結果を分析・研究し、若者のニーズに応じた支援の仕組を引き続き検討してまいります。 | | |
| 3-2 | 自主コース<br>情報発信チーム | 「ためまっぷなかの」の機能を強化してほしい。<br><br>①情報を探しやすくするシステム改善<br>－ヘッダーのタブの複数選択は可能か<br>－「探す」機能を整理できないか<br>－「探す」機能に地域タブを追加できないか<br>②掲載している地域活動団体と連絡をとりやすくできないか<br>③コミュニケーションできる機能を追加できないか | 地域支えあい推進部<br>（地域活動推進課） | △ | 「ためまっぷなかの」は区民公益活動団体の活動支援として、区が「株式会社ためまく」に運営を委託しています。<br>機能について、掲載いただいたアイデアは、部として検討した上で、株式会社ためまく様認・調整が必要となります。 | 通年 | 見る人にとってより探しやすく、掲載する地域活動団体にとって手順がよりわかりやすくできるよう、ためまっぷなかのの運営事業者と調整しています。 | | |
| 3-3 | 自主コース<br>情報発信チーム | 「ためまっぷなかの」の周知を強化してほしい。<br><br>①ためまっぷを効果的に活用した掲載者を表彰するイベントを行うのはどうか<br>②地域の団体の募集が成功するよう周知する<br>③若者が参加する区事業において参加者間の連絡先交換を任意で促す<br>例：シティプロモーション「ナカナカ会」など<br>④ナカナカ会のように区の公認でサークルを作るのはどうか、または、民間による若者のコミュニティ活動を認定することは出来ないか。 | 地域支えあい推進部<br>（地域活動推進課） | △ | 「ためまっぷなかの」は区民公益活動団体の活動支援を目的とした電子掲示板です。<br>「ためまっぷなかの」の周知強化に関しては、部で検討し、区民公益活動団体の活動支援につながるものは、事業者と確認・調整します。<br>可能な限りの情報を掲載し、閲覧していただけるよう、引き続き周知の工夫に努めます。<br>「地域活動フェスティバル」は地域活動団体の活性化支援として実施しています。「ためまっぷなかの」は団体支援のツールの1つであり、事業者と連携して地域活動フェスティバルを実施していますが、愛称にすることは考えていません。 | 通年 | 地域活動団体への広報支援として「ためまっぷなかの」の周知強化を工夫することを計画しています。 | | |
| 3-4 | 自主コース<br>情報発信チーム | 若者が地域で活動できるサークルなどのコミュニティ活動を支援してほしい。<br><br>①若者サークルを紹介できるイベントなどを作る<br>②若者の団体の募集が成功するよう周知する<br>③若者が参加する区事業において参加者間の連絡先交換を任意で促す<br>例：シティプロモーション「ナカナカ会」など<br>④ナカナカ会のように区の公認でサークルを作るのはどうか、または、民間による若者のコミュニティ活動を認定することは出来ないか。 | 区民部<br>（文化振興・多文化共生推進課） | ○ | （若者のコミュニティ活動支援について）<br>「若者」というくくりではありますが、「ナカナカ会」、「ナカノ観光レポーター」、「ナカノミライプロジェクト企業連携ワークショップ」など、それぞれのテーマに沿った新しい関係や交流の創出に努めており、今後も取り組みを継続していきます。 | 通年 | 「ナカノ観光レポーター」、「ナカノミライプロジェクト企業連携ワークショップ」などの取り組みを行っています。 | | |
| | | | 子ども教育部<br>（子ども・若者支援課） | △ | （若者の活動支援について）<br>若者会議や次年度実施を予定している若者実態調査などで、当事者である若者の声やニーズを聴きながら、若者のチャレンジを応援する補助金制度について検討を進めていきます。 | 通年 | 中野区内在住の13歳から39歳までの方を対象に、若者実態調査を6月から7月にかけて実施いたしました。<br>今後、調査結果を分析し、若者のニーズに応じた活動支援の仕組を引き続き検討してまいります。 | | |
| | | | 子ども教育部<br>（子ども・若者支援課） | ○ | 若者フリースペース「まごころドーナッツ」では、地域での若者同士の交流が広がるようプログラムの内容を工夫するとともに、利用者ミーティングを通じて若者と一緒に内容を考えるなど、主体性を尊重した運営を行っています。 | 通年 | 若者フリースペース「まごころドーナッツ」では、若者自身が自由に参加できる、若者同士の交流が広がるような様々なプログラムを実施しています。<br>また、地域とつながる機会の創出として、地域の方々と若者が対話する「地域若者ミーティング」を定期的に開催しています。 | | |
| 3-5 | 自主コース<br>情報発信チーム | 次年度以降の若者会議の活動テーマに、情報発信を位置づけることはできないか。具体的な活動内容として下記を想定している。<br><br>①情報発信ミーティングの運営協力<br>②ためまっぷなかのの機能改善<br>③地域活動のイベント連携（地域活動フェスティバル等） | 子ども教育部<br>（子ども・若者支援課） | △ | 次年度以降の若者会議の運営における情報発信チームの設定については、これまでの提言内容や若者自身の主体的な参画が継続できるかという観点を踏まえ、検討していきます。 | 2026年4～5月 | 今年度の若者会議では、予めテーマを設定した「テーマ型コース」に加えて、参加する方が自由にテーマを設定し活動できる「チャレンジ型コース」を設定いたしました。<br>「チャレンジ型コース」において情報発信をテーマを設定したチームの設立はございませんでしたが、引き続き、若者の主体的な活動の後押しができるような環境の確保を図っていきます。 | | |
| 4-1 | 若者チーム | まずは若者会議が使える予算を確保しませんか？<br><br>すでにチャレンジ基金など既存の枠組みも存在するが、規模・執行のプロセスから、中野若者会議のスキームに馴染まない側面もある。即効性のある措置として検討いただけないか。<br><br>事例として、愛知県新城市には、日本初の条例で定められた若者議会が存在。活動に1000万という予算が付き、若者の提言のもと議会で承認される体制。 | 子ども教育部<br>（子ども・若者支援課） | △ | 若者のチャレンジを応援するための補助金制度について、他自治体の先進事例を調査しながら検討していきたいところであり、若者会議や次年度実施を予定している若者実態調査などで、当事者である若者の声やニーズを聴きながら検討を進めてまいります。 | 通年 | 中野区内在住の13歳から39歳までの方を対象に、若者実態調査を6月から7月にかけて実施いたしました。<br>今後、調査結果を分析し、若者のニーズに応じた活動支援の仕組を引き続き検討してまいります。 | | |
| 4-2 | 若者チーム | 中野区内外に若者施策先進区としてアピールしませんか？<br><br>①区外に対するアピール<br>区の強みとして若者政策をアピールしていくため、他自治体訪問など、フットワークのよい活動が必要。今年度も措置していただいた課外活動等の費用を引き続き措置いただきたい。<br><br>②区内に対するアピール<br>区内若者への働きかけのために若者の実態把握をお願いしたい。そして、それを踏まえて効果的な広報等を検討いただきたい。 | 子ども教育部<br>（子ども・若者支援課） | ◎ | ①中野区の若者施策を区内のみならず、区外にも広げていくため、先進的な他自治体への事例調査のための課外活動費等については、引き続き予算を要求していきます。 | 2025年度<br>2026年度 | 今年度についても、課外活動の費用については予算措置し、活動に資する視察等の活動費に充てております。 | | |
| | | | 子ども教育部<br>（子ども・若者支援課） | △ | ②若者会議や次年度実施を予定している若者実態調査などで、当事者である若者の声やニーズを聴きながら効果的な広報等の検討を進めてまいります。 | 2025年度<br>2026年度 | 中野区内在住の13歳から39歳までの方を対象に、若者実態調査を6月から7月にかけて実施いたしました。<br>今後、調査結果を分析し、若者のニーズに応じた広報手段等について、引き続き検討してまいります。 | | |
| 4-3 | 若者チーム | 若者施策先進区として、再来年の「わかものの まちサミット」誘致に向けて動きませんか？<br><br>過去には全沢市や東海村で行われているサミットの誘致が、「若者施策先進区」であることの一つのアピールになるのではないか。<br>来年度の若者会議の活動も含め、中長期的な発展を描きながら、連携していくことを検討いただけないか。 | 子ども教育部<br>（子ども・若者支援課） | △ | 「わかもののまちサミット」誘致に向けては、過去に開催された自治体へのヒアリングを行うなどにより、具体的な誘致方法について研究します。併行して、サミットを誘致することによる効果などとも勘案しながら、検討いたします。 | 通年 | 「わかもののまちサミット」誘致に向けては、現在具体的な誘致方法について研究中でございます。<br>併せて、今年度開催される予定のサミットにも来園に参加させていただくなど、中野区での開催による効果などとも含めて、検討を進めてまいります。 | | |